

高校吹奏楽界のカリスマ：藤重佳久先生 遺愛吹奏楽局を指導！！

4月11日（月）の午後、はるばる遠く長崎から、高校吹奏楽界では超有名でカリスマ的存在の一人である藤重佳久先生がわざわざ遺愛吹奏楽局の指導のためにいらっしゃいました。藤重先生は長く福岡県の精華女子高等学校で吹奏楽の指導をし、全国吹奏楽コンクール全国大会で8年連続金賞の偉業を成し遂げ、昨年3月に定年で精華を辞めました。その後4月に長崎の活水女子大学音楽学部教授に就任し、あわせて活水女子中学高等学校吹奏楽部音楽監督になると、わずか4ヶ月で活水吹奏楽部を九州の代表校に育て上げ、全国大会に導きました。驚異的なのは、それまで活水吹奏楽部は3年間長崎地区大会にすら出場していなかったのに、この快挙です。

偶然、遺愛の同窓生（東京在住）のお嬢様が、藤重先生の奥様ということがわかりました。その同窓生の方を通し、本校の吹奏楽局顧問の高久先生が、長崎の活水を訪れ、藤重先生からぜひ直接学びたいとの旨をお伝えしてもらったところ、快諾を得て、昨年10月中旬に高久先生は長崎に2泊3日で行って来ました。全国大会直前の3日間びっしり藤重先生と活水吹奏楽部につき、たくさんの方を高久先生は学んできたようです。今回それが縁で、藤重先生が函館の遺愛にわざわざ指導をしに来て下さいました。

函館に来る直前に腰を痛めたということでしたが、指導を始めると非常にエネルギッシュに動き回り、各パートごとに部員に問いを投げかけながら、きめ細やかなアドバイスをおくり、短い時間にグリーンと音が変わってきました。全国のトップレベルの指導を垣間見て、「本当に凄い！」と実感しました。高久先生も、部員たちもとても刺激を受けていました。本当に有り難いことでした。

ひょっとしたら来年3月に、再び藤重先生が活水女子中学高等学校吹奏楽部部員を引き連れて函館を訪れ、遺愛吹奏楽局とジョイントコンサートを行うかもしれないという話も出てきています。

日本の北東と南西にあるミッションスクールの女子校が吹奏楽を通して交流を深めるといのは、キリスト教学校教育同盟の新しい歴史の1ページとなると思います。ぜひ実現できればと願っています。



手前に座っているのが入部を希望している新1年生



2016年4月14日（木）